

平成30年第5回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成30年5月23日（水曜日） 午後1時40分から3時40分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実・高麗公民館長 岡村良夫
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第4号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

報告第4号 専決処理について  
原案どおり承認

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高麗公民館において、昨年度と比較して、何か特色のある取り組みをしているかどうか。

(高麗公民館長) 高麗に関わる取り組みとして始めたのが、日和田山に毎月登ることを1年限定で事業として取り入れた。また、高麗郡探訪として、古い道を知っている方を探している。渋沢栄一が19歳の頃、深谷から内藤新宿まで旅をした記録から、日高の清流を通っている可能性があり、詳細を明らかにして講座を開くなど計画したいと考えている。

(委員) 入間、狭山などの博物館に行くと、南北朝時代に日高市の高麗などが戦場

になっているらしい。いろいろなところに情報があるので活用できるのではないか。

(委員) 日和田山の道について、ハイキングやリハビリ運動目的の利用者にとって、整備状況があまり良くないのではないか。

(高麗公民館長) 昨年度に、あまり景観を変えない程度の整備をしたところである。

(委員) 日高塾は、3年目となるが、どのような状況であるか。

(学校教育課副参事) 1年目が3校で開催、2年目に6校で開催し、昨年度は延べ1,500名程度の参加となっている。

(委員) 3年目となってきたので、そろそろ状況分析や評価ができるのではないか。

(学校教育課副参事) 事業評価など実施したいと考えているところである。

(委員) 県市町村教育委員会教育長研究協議会の講演で、働き方改革についての話のようであるが、副題の「学校づくりにつながる業務改革」とは直接的に関連しないと思われるが、内容は。

(教育長) そもそも学校が本来の目的をしっかりとやるというのが大事であるという内容であった。子どもたちをしっかりと育て、子どもたちが一生懸命に勉強すれば、生徒指導に追われることもなくなるなど、余計な仕事を増やさないようにしていくことが大事であるという考え方であった。

(委員) 教員の健康管理について、今年度も新規採用の方がいるが、現状はどうか。

(教育長) 現状では問題ない。

(委員) 従来の指導方法、新しい指導方法について、検証したものはあるのか。

(学校教育課長) 現在、県で進めているところで、新しい学びは主体的、対話的に子どもが中心となって学ぶ方向にシフトしている。

(委員) 従来のドリル的な内容と、子どもたちが主体的に進めていく指導方法とは、異質なもので、学力というものをどうとらえるかによっても違うが、学力にあまり差異は無いように感じるが。小学校低学年の子などは、主体的な学びというよりは、ドリル的な学習の方が効果のある場合もあるのではないか。

(教育長) 県は、主体的な学習指導方法による学級とそうではない学級との統計を取ってみて、主体的な指導方法による学級で効果があったとしている。入試などに求められる学力については、ドリル的な学習の方が、効果があるという側面も否めないが、子どもたちの興味関心や学びの喜びを持ってもらうことも重要であると考えている。漫然とドリルをやるのと、興味を持ち理解したうえでドリルをやるのでは、効果が全く違うのではないかと感じている。そういった意味では、両方の指導法は大事であると思う。

(委員) 授業時数が限られている中で、児童生徒が主体的に学ぶという手法について、効果が疑問に感じる場所もあり、そのような質問をしたところである。

(教育長) 県も従来の指導方法から子どもたちの主体的な指導方法へ、一斉に切り

替えていることを求めているわけではない。実際に即した方法で進めていきたい。

(委員2) 学力向上に向けて、日高市としての方針は。

(教育長) 子どもたちが主体的に学ぶ指導方法について、今、アクティブラーニングなどと叫ばれているが、日高市においては、かなり昔から実践してきたものである。

(委員2) 最近の子どもたちは、少し忍耐力がなくなっていると感じている。しつけの部分で、怒る側も資質が必要であるので、しつけが不十分な子どもたちが増えてきているのではないか。そうなると、しつけや怒られることに慣れていない子どもたちに、いかに理解して実践させるかということについて、教員にも高い資質と指導力が求められる。

(教育長) 教材から教える場合でも、単純に教材に書いてあるからこうだと教えるのではなく、教材に書かれていることを例えば身近な例を挙げて、どういう内容なのか子どもたちが理解したうえで教えていくのとは、当然にして理解度が違う。

(委員3) 子どもたちは、教えてくれる先生に興味を持っているのか。一人一人とコミュニケーションが出来ていれば、教員を信頼して、話を聞くなど理解力につながると思う。

(教育長) まさに、その部分が大事である。そこが指導力につながる場所である。

(委員) 交通事故防止について、市役所の職員は徹底的な指導を受けるとあるが、教職員への指導はどうなっているのか。

(教育長) 市職員は安全指導を徹底しているほか、交通事故防止強化週間などはバッジを着用して、行動することによる意識の徹底などが図られている。教職員は、行動に伴う部分は、実施している部分が少ないので、若干の意識の差はあるかもしれない。改めて、意識から変えて行くように徹底していきたい。

(委員) 人事評価校長当初申告において、新たに校長となられた方の職への強い思いというのは、どのようなことが挙げられるか。

(教育長) 目指す学校像などで、その校長なりの学校像をヒアリングしていく中で、思いを感じたりした部分があった。

#### 【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 高萩北公民館の「マルちゃんのうどん作り教室」について、講師は。

(生涯学習課長) 東洋水産からお越しいただく。企業の地元協力の一環である。

(委員) 武蔵台公民館の「鎌倉時代の随筆を読む」について、講師は文化協会などからか。

(生涯学習課長) 国語教師をされている方である。教授になることなどに興味はなく、公民館事業などにより、教えていくことに信念を持たれている方である。

(委員) 健康ウォーキングの高麗川沿いを歩く場所は、どのあたりか。

(生涯学習課長) 坂戸市から上流に向かって歩いて来るルートである。

(委員2) ガイドなどは同行するのか。

(生涯学習課長) 健康推進委員と公民館職員がコース設定しており、歩くコースや内容によって、同行する場合もある。

(委員) 高萩公民館の「父の日料理教室」について、対象年齢は。

(生涯学習課長) 小学生が対象である。お父さんが料理をするのではなく、小学生が料理をして、お父さんへ贈るという主旨である。パンを焼いて、サンドイッチにしたりする。

(委員) 親子の中で、お母さんがいないと何もできない家庭があるようで、お父さんに対する料理教室などによって、多少なりとも解消していく内容と思った。また、お父さんと子どもの組み合わせで親子教室などがあれば、お母さんの負担も減ることにつながるのではないか。

(生涯学習課長) そちらの内容については、男の料理教室という講座がある。親子で参加できる講座も予定している。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第4号について 非公開のため記載せず

#### 5) その他

##### (1) 次回定例会の日程等について

○6月定例会：6月27日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○7月定例会：7月26日（木曜日）午後2時00分から 委員了承

##### (2) その他連絡事項

○平成30年度埼玉県市町村教育委員研究協議会

7月、9月【仙台市など】